

## 立教 185 年 学生生徒修養会 高校の部 新型コロナウイルス等の感染予防対策について

○以下に当てはまる場合は、受講をご遠慮ください。万全を期す上からの対応である点をあらかじめご理解頂き、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

- ・発熱のある方（目安：一般的に 37.5℃以上が発熱とされています）  
※解熱剤で熱を下げての受講は固くお断り致します
- ・喉の痛みがある方
- ・咳が出ている方
- ・だるさ（倦怠感）や脱力感がある方
- ・息苦しさ（呼吸困難）や息切れがある方
- ・吐き気、嘔吐、下痢、味覚と嗅覚の変化といった症状がある方
- ・新型コロナウイルス感染者との濃厚接触者となり、その外出自粛期間内にある方
- ・当日、受付での「検温」で発熱が認められた場合は、感染症の疑いを十分に考慮し、受講をお控えいただきます

○開催にあたり、以下の「感染予防対策」を講じます。

（期間前）

- ・参加 2 週間前からの検温の実施と、検温記録の提出をしていただきます
- ※平熱を把握する材料でもありますので、必ず検温の実施をお願いします

（期間中）

- ・3密（密閉、密集、密接）を避ける工夫
- ・「手洗い、うがい」の励行
- ・「アルコール消毒液」の設置
- ・部屋の「換気」の実施
- ・「マスク」着用の義務（食事、入浴時以外）
- ・ソーシャルディスタンスの確保（受付、朝夕おつとめ、講話、レクチャー、食事、入浴など）
- ・「食事」の時は間隔を開けて座り、会話を控える（黙食の徹底）
- ・「食事」、「入浴」における時間差の設定
- ・「検温」の実施（毎日、朝夕の 2 回）
- ・「消毒作業」の実施（ドアノブや手すり、エレベーターや洗面所、トイレ等々）
- ・就寝時は相部屋（2～3 名）での宿泊。宿泊部屋は 1 人あたり、畳 5 枚以上のスペースを確保
- ・期間中に、発熱、息苦しさや倦怠感、咳や咽頭痛などの症状が出た場合は、常駐している看護師の判断の下、詰所（あるいは自宅）にて静養していただき、その後のご受講は辞退をお願いします。その際、迎えや通院などの世話取りは各直属にご協力お願い致します

不明な点、質問などあれば、学生担当委員会事務局（Tel：0743・63・2489）までご連絡ください。